

登録コード:MH641200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	臨床神経学【理作20M以降】 Clinical Neurology			
担当教員	矢崎 正英			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	理学・作業療法学専攻2年 後期 月曜・3時限 月曜・4時限			
単位数、講義室	2 単位	保健学科 2 4 1 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		神経の構造と機能の基礎知識の修得と主立った神経疾患の発症機序や病態を学ぶことで、理学療法・作業療法の現場で役立つ臨床神経学を身につけ、活用できるようになる。	
	MH25カリ・保健・理学, MH23カリ・保健・理学			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		神経障害の症候について理解し、神経学的所見が取れ、医療の現場で活用できるようになる。 また重要な神経疾患について、その発症機序と神経症候が生じる機序について理解し、障害部位が類推できるようになる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		社会で派生する多様な健康課題に対し、理学・作業療法士としての視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、対象者の課題に応じた運動機能・精神認知機能の回復に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	リハビリテーション医学に必要な神経学を概説し、神経の構造と機能を理解し神経学的所見の取り方を習得する。 本授業は、担当教員の医療現場における神経内科医としての実務経験を活かして講義を行う。本授業は、1年次に学んだ「生理学」、「解剖学」の知識を前提に学んでいくことになります。そして、本授業の内容は、4年次の臨床実習における重要な基礎知識となります。			
授業計画	第 1回 (9月28日) 神経内科学総論 第 2回 (10月5日) 神経系の機能 第 3回 (10月14日) 神経診断学 1 第 4回 (10月19日) 神経診断学 2 第 5回 (10月26日) 神経・筋疾患の検査法 第 6回 (11月2日) 脳血管障害 第 7回 (11月9日) 脊髄小脳変性症 第 8回 (11月16日) 認知症 第 9回 (11月26日) 中間試験 第10回 (11月30日) パーキンソン病 第11回 (12月7日) パーキンソン病関連疾患 第12回 (12月14日) 脱髄性疾患・末梢神経障害 第13回 (12月21日) 運動ニューロン疾患（筋萎縮性側索硬化症など） 第14回 (1月4日) 筋疾患・神経筋接合部疾患 第15回 (1月18日) 内科疾患と神経障害・授業アンケート 第16回 (1月25日) 期末試験			
授業の進め方	スライドを用いた講義を中心に進め、神経学的所見の取りかたなどの診断実習も取り入れます。			
テキスト, 教材, 参考書	脳神経内科学（理工図書） 標準神経病学（医学書院） ベッドサイドの神経の診かた（南山堂）			
成績評価の方法	期末試験・中間試験（11月26日）の結果を総合的に評価し判定する。 中間試験・期末試験は100点満点とし、それぞれ40点、60点満点に換算する。 総計で60点以上を合格とする。			
成績評価の基準	成績評価の判定は、 90 - 100点を秀、80 - 89点を優、70 - 79点を良、60 - 69点を可とします。 具体的な判定基準としては、授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある（可）」、応用問題が解ければ「やや上にある（良）」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある（優）」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している（秀）」と判断します。			
事前事後学習の内容	事前学習：シラバスおよび次回講義用のスライド資料をよく読み、次回の授業内容を確認し、教科書を読んでおく。 事後学習：ノートの整理をしながらよく授業中に深く掘り下げられた内容を復習し、授業内を確実なものとし、理解不足のところは次回質問する。 毎回の授業で、前回含め過去に講義した内容について幾つか質問するので、講義終了後は			

事前事後学習の内容	ノートをよく復習しておいてください。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間60時間（4時間×15回）+ 自己学習時間30時間（1時間×30回）= 90時間
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	最新の医学的研究にも目を向け、research mindを持ってもらいたい。 質問への対応：矢崎正英 mayazaki@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時 保健学科中校舎4階 矢崎研究室